

平成21年5月期 第2四半期決算短信

平成21年1月9日

上場会社名 三光合成株式会社
 コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 健宗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 廣川 修悦
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月13日

上場取引所 JQ

TEL 0763-52-7105

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第2四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年5月期第2四半期 | 24,651 | — | △133 | — | △272 | — | △471 | — |
| 20年5月期第2四半期 | 26,216 | 15.9 | 280 | — | 152 | — | △73 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年5月期第2四半期 | △22.53 | — |
| 20年5月期第2四半期 | △3.49 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|-------|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年5月期第2四半期 | 30,961 | 6,704 | 6,704 | 20.2 | 297.63 | |
| 20年5月期 | 33,344 | 8,080 | 8,080 | 22.4 | 357.52 | |

(参考) 自己資本 21年5月期第2四半期 6,233百万円 20年5月期 7,490百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年5月期 | — | — | — | 2.00 | 2.00 |
| 21年5月期 | — | — | — | — | — |
| 21年5月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 43,000 | △18.6 | △500 | — | △700 | — | △900 | — | △42.97 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

平成20年10月10日に公表の業績予想を修正し、本日平成21年1月9日に「平成21年5月期 第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異、平成21年5月期通期(連結・個別)業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」を別途開示しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年5月期第2四半期 21,121,569株 20年5月期 21,121,569株
 ② 期末自己株式数 21年5月期第2四半期 179,242株 20年5月期 170,857株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年5月期第2四半期 20,946,228株 20年5月期第2四半期 20,954,961株

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 平成20年10月10日に公表の業績予想を修正し、本日平成21年1月9日に「平成21年5月期 第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異、平成21年5月期通期(連結・個別)業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」を別途開示しております。
3. 上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますので、実際の業績は今後の要因により予想と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

※定性的情報における前年同期比に関する増減率及び金額につきましては、参考として記載しております。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高止まりに加え、欧米を中心とした金融不安が企業収益や個人消費に大きく影響し、景気は後退局面の様相を呈してきました。

このような環境の下、当社グループは、原価低減や品質保証強化の活動を引き続き推進してまいりました。

国内におきましては、OA機器用消耗部品は堅調に推移しましたが、自動車業界の減産により車両用部品は減少し、売上高は前年同期に比べ減少しました。

一方、海外におきましては、欧州地域の薄型テレビ用部品は引き続き堅調に推移しましたが、車両用部品はアジア・欧州両地域とも減産に見舞われ、全般的に非常に厳しい状況で推移いたしました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は急激な円高の影響を受け246億51百万円（前年同期比6.0%減）となりました。利益面におきましては、営業損失は1億33百万円（前年同期は営業利益2億80百万円）、経常損失は2億72百万円（前年同期は経常利益1億52百万円）、四半期純損失は4億71百万円（前年同期は中間純損失73百万円）となりました。

当社グループの事業部門別売上高

| 事業部門別 | | 当第2四半期 累計期間 | | 前第2四半期 累計期間 | | 増 減 | |
|-------------|---------|----------------|-------|----------------|-------|--------|-------|
| | | 構成比 | 構成比 | 増 | 減 | 増減率 | 増減率 |
| 成 形 品 | 情報・通信機器 | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| | | 4,824 | 19.6 | 5,656 | 21.6 | △831 | △14.7 |
| | | 11,292 | 45.8 | 13,649 | 52.0 | △2,357 | △17.3 |
| | 家電その他 | 5,924 | 24.0 | 4,660 | 17.8 | 1,264 | 27.1 |
| 成形品計 | | 22,042 | 89.4 | 23,966 | 91.4 | △1,924 | △8.0 |
| 金型 | | 2,609 | 10.6 | 2,250 | 8.6 | 359 | 16.0 |
| 合計 | | 24,651 | 100.0 | 26,216 | 100.0 | △1,564 | △6.0 |

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 成形品事業

車両分野につきましては、アジアや欧州においてモデルチェンジや消費減退等による減産の影響を受けました。情報・通信機器分野は、アジアでのプリンター用部品の受注減少もあり停滞しました。家電その他分野は、薄型テレビ用部品を中心に引き続き堅調に推移しました。以上の結果、売上高は220億42百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は1億8百万円（同74.7%減）となりました。

② 金型事業

欧州において、薄型テレビ向け及び車両用モデルチェンジに伴う増加はありましたが、価格競争の激化により売上高は26億9百万円（同16.0%増）、営業損失は24百万円（前年同期は営業利益33百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

車両用機能部品は堅調に推移しましたが、車両用内外装品、OA機器用消耗部品及び金型開発案件の減少により、売上高は115億19百万円（前年同期比9.5%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益1億42百万円）となりました。

② 欧州

車両用部品はモデルチェンジにより減産となりましたが、薄型テレビ用部品は引き続き堅調に推移し、売上高は62億58百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は43百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

③ アジア

プリンター用部品の受注減少に加え、車両用部品も減産となり、売上高は71億75百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は59百万円（同85.9%減）となりました。

④ 北米

自動車業界は伸び悩みを続けているものの、原価低減効果により、売上高は7億9百万円（同23.8%減）、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失46百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の資産合計は、309億61百万円（前連結会計年度末比23億82百万円減）となりました。流動資産は168億78百万円と前連結会計年度末比17億78百万円減少しておりますが、これは主に現金及び預金と売上債権の減少によるものであります。固定資産は140億82百万円と前連結会計年度末比5億99百万円減少しておりますが、これは、機械装置及び運搬具などの有形固定資産の減少が主な要因であります。

当第2四半期連結累計期間末の負債合計は、242億56百万円（前連結会計年度末比10億7百万円減）となりました。これは主に未払費用などのその他流動負債の減少によるものであります。

当第2四半期連結累計期間末の純資産合計は、67億4百万円（前連結会計年度末比13億75百万円減）となりました。これは主に為替換算調整勘定及び利益剰余金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出等により資金が減少し、減価償却費や仕入債務の変動等による増加はあったものの、当第2四半期連結累計期間末には15億27百万円となり、前連結会計年度末より7億42百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は9億83百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失5億33百万円、減価償却費9億13百万円、売上債権の増加8億1百万円及び仕入債務の増加15億51百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は16億17百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出15億6百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は2億84百万円となりました。これは主に長期借入金の借入れによる収入11億80百万円、同返済による9億69百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、平成21年5月期の業績見通しにつきましては、今下半期は世界規模で車両用部品の市場が急速に縮小することが予想されることから、売上高は430億円（前連結会計年度比18.6%減）、利益面におきましては、全社一丸となってあらゆる経費削減に最大限努めてまいります。営業損失は5億円（前連結会計年度は営業利益7億31百万円）、経常損失は7億円（前連結会計年度は経常利益5億71百万円）、当期純損失は9億円（前連結会計年度は当期純利益1億45百万円）となる見込であります。

詳細につきましては、本日平成21年1月9日公表の「平成21年5月期 第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異、平成21年5月期通期（連結・個別）業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の配賦方法については、標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に事業の種類別区分により実施する方法によっております。

② 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性低下による簿価切り下げの方法)に変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ5,275千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ2,633千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,527,955 | 2,270,067 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,570,425 | 12,165,189 |
| 商品及び製品 | 832,816 | 816,971 |
| 仕掛品 | 1,165,274 | 1,464,838 |
| 原材料及び貯蔵品 | 760,870 | 718,657 |
| その他 | 1,038,809 | 1,240,893 |
| 貸倒引当金 | △17,417 | △19,301 |
| 流動資産合計 | 16,878,734 | 18,657,317 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,875,809 | 5,201,961 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,481,359 | 4,102,820 |
| 土地 | 2,319,657 | 2,235,964 |
| 建設仮勘定 | 263,119 | 326,027 |
| その他（純額） | 1,746,399 | 1,718,360 |
| 有形固定資産合計 | 12,686,345 | 13,585,133 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 112,735 | 188,108 |
| 無形固定資産合計 | 112,735 | 188,108 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 741,825 | 710,739 |
| その他 | 541,674 | 198,363 |
| 投資その他の資産合計 | 1,283,500 | 909,102 |
| 固定資産合計 | 14,082,581 | 14,682,345 |
| 繰延資産 | — | 4,443 |
| 資産合計 | 30,961,316 | 33,344,106 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,377,937 | 10,413,990 |
| 短期借入金 | 1,477,621 | 1,535,550 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,199,558 | 2,304,313 |
| 未払法人税等 | 37,453 | 153,268 |
| その他 | 2,648,647 | 3,178,925 |
| 流動負債合計 | 16,741,218 | 17,586,047 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,637,469 | 6,644,161 |
| 退職給付引当金 | 30,213 | 31,804 |
| 役員退職給与引当金 | 96,012 | 96,012 |
| 負ののれん | 19,749 | 19,150 |
| その他 | 731,725 | 886,840 |
| 固定負債合計 | 7,515,170 | 7,677,969 |
| 負債合計 | 24,256,388 | 25,264,016 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,890,800 | 1,890,800 |
| 資本剰余金 | 1,742,393 | 1,742,393 |
| 利益剰余金 | 3,651,610 | 4,209,893 |
| 自己株式 | △37,499 | △36,513 |
| 株主資本合計 | 7,247,304 | 7,806,573 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,341 | △4,673 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △8 |
| 為替換算調整勘定 | △1,007,745 | △311,558 |
| 評価・換算差額等合計 | △1,014,086 | △316,241 |
| 少数株主持分 | 471,710 | 589,757 |
| 純資産合計 | 6,704,927 | 8,080,089 |
| 負債純資産合計 | 30,961,316 | 33,344,106 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年11月30日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | 24,651,280 |
| 売上原価 | 22,006,488 |
| 売上総利益 | 2,644,791 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,778,644 |
| 営業損失(△) | △133,852 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 8,506 |
| 持分法による投資利益 | 7,402 |
| 受取手数料 | 19,270 |
| その他 | 49,436 |
| 営業外収益合計 | 84,615 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 187,998 |
| その他 | 35,467 |
| 営業外費用合計 | 223,465 |
| 経常損失(△) | △272,702 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 4,613 |
| 特別利益合計 | 4,613 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 334 |
| 固定資産除却損 | 20,383 |
| 為替差損 | 192,636 |
| スワップ差損 | 51,832 |
| 特別損失合計 | 265,187 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △533,276 |
| 法人税等 | △46,419 |
| 少数株主損失(△) | △15,017 |
| 四半期純損失(△) | △471,840 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年6月1日
 至 平成20年11月30日)

| | |
|---------------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △533,276 |
| 減価償却費 | 913,057 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △7,402 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △1,591 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,506 |
| 支払利息 | 187,998 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △4,279 |
| 有形固定資産除却損 | 20,383 |
| 為替差損益(△は益) | 192,636 |
| スワップ差損益(△は益) | 51,832 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △801,177 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 837 |
| その他資産の増減額(△は増加) | △193,409 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,551,796 |
| その他負債の増減額(△は減少) | △50,693 |
| その他 | △37,204 |
| 小計 | 1,281,003 |
| 利息及び配当金の受取額 | 8,506 |
| 利息の支払額 | △185,915 |
| 法人税等の支払額 | △119,819 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 983,774 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △304 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,506,963 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 8,644 |
| その他 | △118,888 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,617,511 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 121,067 |
| 長期借入金の借入れによる収入 | 1,180,028 |
| 長期借入金の返済による支出 | △969,769 |
| 配当金の支払額 | △41,901 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △3,937 |
| 自己株式の取得による支出 | △986 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 284,502 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △392,877 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △742,112 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,270,067 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,527,955 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（平成20年6月1日～平成20年11月30日）

| | 成形品 (千円) | 金型 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|------------------|-------------|------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 22,042,121 | 2,609,158 | 24,651,280 | — | 24,651,280 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | — | — | — | (—) | — |
| 計 | 22,042,121 | 2,609,158 | 24,651,280 | (—) | 24,651,280 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 108,413 | △24,922 | 83,491 | (217,344) | △133,852 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

| 事業区分 | | 主要製品 |
|------|---------|-------------------------------------|
| 成形品 | 情報・通信機器 | 定着器ユニット、スキャナー、トナーカートリッジ、 インクタンク等 |
| | 車両 | ボデーバルブ、インパネ、バンパー、ハウジングギア、タンク等 |
| | 家電その他 | フロントパネル、フィルター枠、ファン、手洗器、 飲料用キャップ等 |
| 金型 | | プラスチック成形用金型 |

3. 会計基準の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、成形品事業で、第2四半期累計期間の営業利益が5,275千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計基準に関する当面の取扱い)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、成形品事業で、第2四半期連結累計期間の営業利益が2,633千円減少しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令」（財務省令第32号 平成20年4月30日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、金型事業で、第2四半期連結累計期間の営業損失が1,619千円減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（平成20年6月1日～平成20年11月30日）

| | 日本 (千円) | 欧州 (千円) | アジア (千円) | 北米 (千円) | 計 (千円) | 消去 又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|------------------|------------|------------|-------------|------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 10,914,958 | 6,250,225 | 6,776,520 | 709,574 | 24,651,280 | — | 24,651,280 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | 604,504 | 8,437 | 399,258 | — | 1,012,200 | (1,012,200) | — |
| 計 | 11,519,463 | 6,258,662 | 7,175,779 | 709,574 | 25,663,480 | (1,012,200) | 24,651,280 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △6,646 | 43,691 | 59,930 | △13,483 | 83,491 | (217,344) | △133,852 |

(注) 1. 地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……英国、オランダ等

(2) アジア……シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国等

(3) 北米……米国

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、日本で、第2四半期連結累計期間の営業損失が5,275千円増加しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、第2四半期連結累計期間の営業利益が、欧州で418千円、アジアで2,214千円それぞれ減少しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令」（財務省令第32号 平成20年4月30日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、日本で、第2四半期連結累計期間の営業損失が1,619千円減少しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年6月1日～平成20年11月30日）

| | 欧州 | アジア | 北米 | 計 |
|--------------------------|-----------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 6,256,156 | 6,925,347 | 714,181 | 13,895,686 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | — | 24,651,280 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％） | 25.4 | 28.1 | 2.9 | 56.4 |

(注) 1. 地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

欧州……英国、オランダ等

アジア……シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国等

北米……米国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

| 区分 | 前中間連結会計期間 (自 平成19年6月1日 至 平成19年11月30日) | |
|----------------|---|------------------|
| | 金額 (千円) | 百分比 (%) |
| I 売上高 | | 26,216,143 100.0 |
| II 売上原価 | | 22,803,778 87.0 |
| 売上総利益 | | 3,412,365 13.0 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 3,131,685 11.9 |
| 営業利益 | | 280,680 1.1 |
| IV 営業外収益 | | |
| 1. 受取利息 | 10,281 | |
| 2. 賃貸料 | 15,049 | |
| 3. 持分法による投資利益 | 59,529 | |
| 4. その他 | 54,874 | 139,734 0.5 |
| V 営業外費用 | | |
| 1. 支払利息 | 192,609 | |
| 2. 為替差損 | 36,397 | |
| 3. 手形売却損 | 3,313 | |
| 4. 支払手数料 | 13,655 | |
| 5. その他 | 21,843 | 267,818 1.0 |
| 経常利益 | | 152,596 0.6 |
| VI 特別利益 | | |
| 1. 固定資産売却益 | 63,699 | 63,699 0.2 |
| VII 特別損失 | | |
| 1. 固定資産売却損 | 27,359 | |
| 2. 固定資産除却損 | 15,677 | |
| 3. スワップ差損 | 65,710 | |
| 4. 過年度消費税等 | 29,545 | 138,293 0.5 |
| 税金等調整前中間純利益 | | 78,002 0.3 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,204 | |
| 法人税等調整額 | 12,087 | 86,292 0.3 |
| 少数株主利益 | | 64,878 0.3 |
| 中間純損失 (△) | | △73,168 △0.3 |

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前中間連結会計期間 (自 平成19年6月1日 至 平成19年11月30日) |
|-----------------------------|---|
| 区分 | 金額 (千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前中間純利益 | 78,002 |
| 減価償却費 | 951,012 |
| 持分法による投資利益 | △59,529 |
| 退職給付引当金の減少額 | △41,855 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10,281 |
| 支払利息 | 192,609 |
| 有形固定資産売却益 | △63,699 |
| 有形固定資産売却損 | 27,359 |
| 有形固定資産除却損 | 15,677 |
| 為替差損益 | 36,397 |
| スワップ差損 | 65,710 |
| 売上債権の増減額 | △1,334,923 |
| たな卸資産の増減額 | △353,603 |
| その他資産の増減額 | △194,510 |
| 仕入債務の増減額 | 2,084,908 |
| その他負債の増減額 | 62,131 |
| 割引手形の増減額 | 15,350 |
| その他 | △95,492 |
| 小計 | 1,375,265 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10,281 |
| 利息の支払額 | △195,188 |
| 法人税等の支払額 | △184,783 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,005,575 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △99 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,617,523 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 152,163 |
| その他 | △102,304 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,567,763 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 | 357,422 |
| 長期借入金の借入れによる収入 | 3,064,614 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,300,277 |
| 配当金の支払額 | △41,449 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △45,423 |
| 自己株式の取得による支出 | △440 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,034,447 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △98,547 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | 373,711 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,805,586 |
| VII 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,179,298 |

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年6月1日 至 平成19年11月30日）

| | 成形品 (千円) | 金型 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|-------------|------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 23,966,134 | 2,250,009 | 26,216,143 | — | 26,216,143 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | (—) | — |
| 計 | 23,966,134 | 2,250,009 | 26,216,143 | (—) | 26,216,143 |
| 営業費用 | 23,537,226 | 2,216,187 | 25,753,413 | 182,049 | 25,935,463 |
| 営業利益 | 428,907 | 33,822 | 462,729 | (182,049) | 280,680 |

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年6月1日 至 平成19年11月30日）

| | 日本 (千円) | 欧州 (千円) | アジア (千円) | 北米 (千円) | 計 (千円) | 消去 又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|------------|------------|-------------|------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 12,119,606 | 5,427,191 | 7,737,904 | 931,441 | 26,216,143 | — | 26,216,143 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 610,825 | 78,109 | 695,761 | — | 1,384,696 | (1,384,696) | — |
| 計 | 12,730,431 | 5,505,301 | 8,433,665 | 931,441 | 27,600,840 | (1,384,696) | 26,216,143 |
| 営業費用 | 12,587,710 | 5,565,153 | 8,007,480 | 977,765 | 27,138,110 | (1,202,647) | 25,935,463 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 142,720 | △59,852 | 426,185 | △46,324 | 462,729 | (182,049) | 280,680 |

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年6月1日 至 平成19年11月30日）

| | 欧州 | アジア | 北米 | 計 |
|--------------------------|-----------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高(千円) | 5,525,847 | 7,870,802 | 936,798 | 14,333,448 |
| II 連結売上高(千円) | — | — | — | 26,216,143 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 21.1 | 30.0 | 3.6 | 54.7 |